記者発表資料

平成２４年　２月２８日
酒田河川国道事務所

国道１１２号の雪崩緊急点検結果について

平成２４年２月２７日に国道１１２号の当事務所が管理する区間の雪崩緊急点検を実施しました。
今回の点検においては、早急な対応・対策が必要となる箇所は確認されませんでした。
地形並びに積雪の状況により雪崩発生が懸念される箇所につきましては、今後も点検を行い、必要に応じた事前の対応（堆雪ポケットの確保・せり出した雪庇※の処理 等）を図ります。

１．調 査 日 ： 平成２４年２月２７日（月）

２．調査場所 ： 国道１１２号月山道路（庄内側）
（月山第１トンネル鶴岡側～鶴岡市熊出） 27地点

３．点検方法 ： 専門家及び職員による目視点検

４．点検結果 ： （専門家による考察）
・現時点で雪崩が発生する可能性の高い点検箇所は無い
・継続して目視点検を実施し、必要に応じて堆雪ポケットの確保、雪庇※の処理を実施する

※雪庇（せっぴ）：風により、風下側に形成される庇(ひさし)形状の積雪。
大きくなりすぎると自らの重さで崩落する。

〈 発表記者会：酒田記者クラブ、鶴岡記者会 〉

問 い 合 わ せ 先
国土交通省　東北地方整備局　酒田河川国道事務所 電話番号　０２３５－２７－３３３１（代表） 道路管理課長　　本木（もとき） 雅信（まさのぶ）（内線 ４３１）

＜参考資料＞

雪崩緊急点検実施結果

酒田河川国道事務所管内の国道１１２号沿線の累加降雪量は、いづれも過去５カ年平均を大きく上回る降雪量となっており、これからの時期は気温の上昇や降雪等によっては雪崩が発生しやすい状況となります。

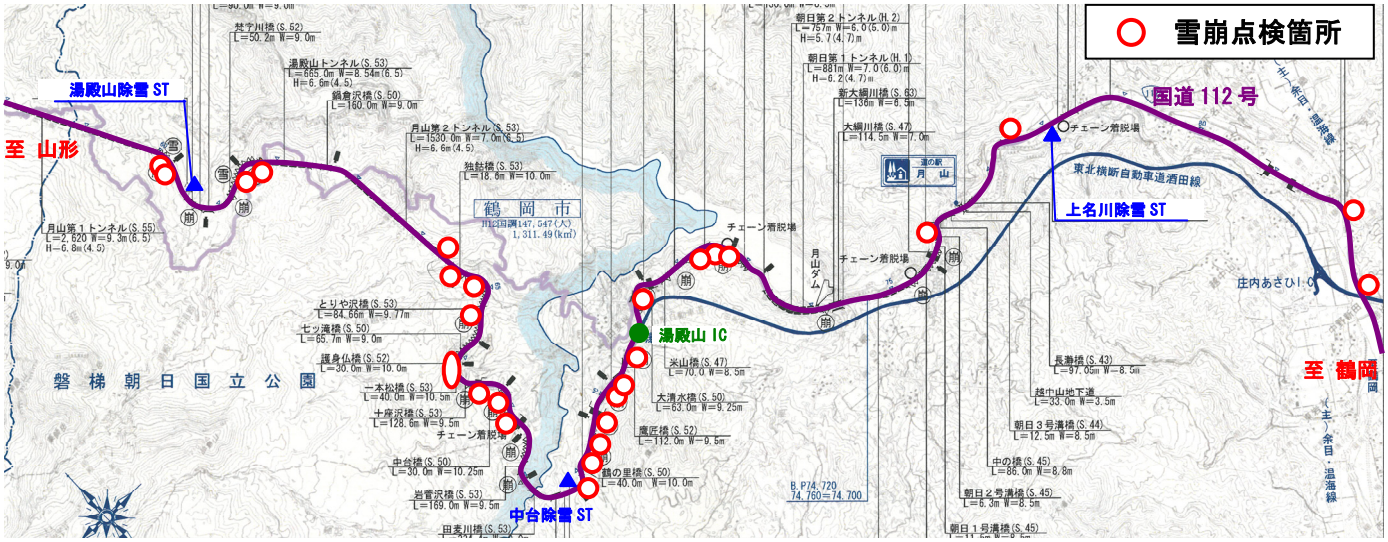
酒田河川国道事務所では、これまでも雪崩予防・防止対策として雪崩防止柵等を設置するとともに、道路パトロールにより危険箇所の確認を実施しておりますが、今回、雪崩対策の専門家と合同で危険箇所の点検を実施しましたので、点検結果をお知らせします。

酒田河川国道事務所管内の国道１１２号沿線の累加降雪量（数値は各年とも２/１７）

湯殿山除雪 ST　H24：2,075cm（5 カ年平均 1,912cm）H23：1,632cm、H22：1,555cm

中　台除雪 ST　H24：2,165cm（5 カ年平均 1,727cm）H23：1,666cm、H22：1,389cm

上名川除雪 ST　H24：1,072cm（5 カ年平均　699cm）H23：　745cm、H22：　701cm







◆ 雪崩緊急点検実施結果

○ 国道１１２号の雪崩等の発生が予想される斜面箇所を点検した結果、今回は雪崩発生の危険性が高い箇所はありませんでした。

○ 早急に対策が必要な箇所はありませんでしたが、継続的に目視点検を実施し雪崩予防対策として堆雪ポケットの確保、雪庇処理等の対策を行っていくこととしております。